公 式 記 録

令和元年度兵庫県高等学校サッカー新人大会　決 勝 【 39 】

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日 時	2020 年 2 月 2 日（日） 13 ： 00 キックオフ			会 場	アスパ五色 メイングラウンド		
天 候	晴れ	風	微風	ピッチ	天然芝・人工芝・クレー	状 態	良好
試合形式	70 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有						
運営責任者	笠原 弘樹	会場主任	石塚 俊一	記 録	平野 敦士 ／ 芝切 淳	観 衆	863 人
主 審	渡辺 一翔	副審1	佐藤 翔太	副審2	亀田 詩真	第4の審判員	奥山 恒平

チーム名			チーム名
神戸弘陵学園高校	4	1 前半 0 3 後半 0 延前 延後 PK戦	0	蒼 開 高 校

kick off

選手番号 / PK戦 ○× 先

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名	(学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					大月 耀平	2年	1	GK	GK	21	寺谷 勇和	2年					分	
	分				1	木谷 亮太	2年	2	DF	DF	3	藤原 遼人	2年					分	
	HT 分					橋本 翔和	2年	3	DF	DF	9	河野 聖亜	2年					分	
	分			1＊		小倉 慶士	2年	6	DF	DF	13	大村 元哉	2年					分	
	分					田中 百々輝	1年	24	DF	DF	15	裏川 稜介	1年					54 分	
	49 分					田中 魁人	2年	7	MF	MF	7	李 聖輝	2年					65 分	
	分			1＊		松井 治輝	2年	8	MF	MF	8	滝本 尊	2年					分	
	45 分			2		辻 夕雲希	2年	16	MF	FW	10	江頭 祐也	2年					48 分	
	HT 分				2	田中 祉同	1年	9	FW	FW	11	砂川 隼人	2年					60 分	
	分				3＊	松野 隼輝	2年	10	FW	FW	17	大下 龍成	2年					47 分	
	60 分			1＊		徳弘 匠	2年	18	FW	FW	20	松本 麗	1年	1	2			分	
	分					宮本 規央	2年	25	GK	GK	12	坂平 涼介	2年					分	
3	分			1		藤井 龍馬	2年	5	DF	DF	4	西岡 輝哉	2年					分	
18	分			1		白山 麟	2年	14	MF	DF	6	山本 哲平	2年					分	7
9	分					藤井 暖人	2年	17	MF	DF	22	正辻 隆喜	1年					分	15
7	分					川瀬 隼	2年	19	MF	MF	14	市吉 飛来	1年					分	11
16	分					松隈 弘樹	1年	11	FW	MF	16	辻岡 吹稀	1年					分	10
	分					浅野 晴人	2年	13	FW	FW	19	田中 惇生	1年					分	
	分					牧野 隼也	2年	21	FW	FW	23	平本 泰基	1年					分	
	分					吉村 瑠晟	1年	22	FW	FW	24	池内 綾	1年					分	17

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					13			7	6	シュート	1	2			3	17 分	退	3	藤原 遼人	阻(他)
分					3			1	2	ＧＫ	5	10			15	68 分	警	13	大村 元哉	ラフ
分					3			0	3	ＣＫ	0	0			0	分				
分					12			6	6	直接ＦＫ	2	2			4	分				
分					1			0	1	間接ＦＫ	2	1			3	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
5 分	神戸弘陵	10	松野	1 － 0	右 16 ∩ 10 ～ 中央 左足 S
46 分	神戸弘陵	8	松井	2 － 0	左 6 ∩ 中央 17 ～ S はね返り 8 左足 S
49 分	神戸弘陵	18	徳弘	3 － 0	中央 18 ～ 右足 S
69 分	神戸弘陵	6	小倉	4 － 0	右 FK 6 左足 S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者 所属 【 滝川第二・芦屋 】 氏名 【 松岡・上野大 】

晴天の中、両チーム4-2-3-1でスタートし、立ち上がりから弘陵が高いスキルと守備強度で主導権を握る。5分、蒼開守備陣の隙を逃さず、弘陵⑯辻の背後へのパスに⑩松野が反応し先制。その後も弘陵が⑧松井を中心にポゼッション率を高め優位にゲームを運ぶと、17分弘陵DFからのロングボールに反応した⑱徳弘が背後に抜け出し、蒼開③藤原が決定機を阻止し退場。10人となった蒼開は3バックに変更し、果敢にGKからビルドアップして弘陵ゴールに向かうも⑦田中魁を中心とした強度の高い弘陵の守備陣を崩すことはできずチャンスを作れない。数的優位の弘陵は③橋本のロングスローや多彩なセットプレーで蒼開ゴールに迫るも追加点を取れず前半終了。後半に入り弘陵は⑤藤井龍、⑰藤井暖を投入しさらに攻勢に出ると、46分、49分と立て続きに追加点を上げ、蒼開を突き放す。選手権、新人大会と兵庫県を制した弘陵に賛辞を送るとともに、前半から10人となり難しい試合展開となったがGKからのビルドアップに挑戦し続け、⑳松本を中心に弘陵ゴールに向かった蒼開には今回の決勝戦の経験を活かし、リーグ戦・総体での活躍に期待したい。

［備 考］